平成28年度行政評価 事務事業評価シート（平成27年度実績）

事務事業コード	030101070	予算コード	01081730	従事人員（人）		投入コスト（千円）		評価	評価点	一次評価	A
事務事業名	市民後見推進事業			正規職員数	0.28	国庫支出金	642	有効性	B	高齢者の増加に伴い、認知症高齢者も増加傾向にあるため、今後ニーズは増えると考える。	
担当課	高齢介護課			嘱託職員数	0.23	府支出金					
根拠法令等	市単独事業			臨時職員数	0	市債		効率性	該当なし		
	■法律・政令・省令			歳出（千円）		その他					
	老人福祉法、地域医療介護総合確保促進法			人件費総額	3,319	一般財源	3,320	妥当性	該当なし		
						減価償却費	0				
						事業費	643	受益者負担	該当なし		
事務事業類型	運営事業			フルコスト（千円）			3,962	緊急性	C	事務事業実施内容	
実施手法	全部委託			市民1人当りコスト（円）			39			平成２６年度は８名オリエンテーションへ参加した。	
対象				活動指標		H27実績		公的関与	該当なし		
特定の市民		対象数	不明	地域包括支援センターへの権利擁護の相談件数		140.0					
認知症高齢者								実施主体・委託化	D		
事業の内容											
泉佐野市において「市民後見人養成講座」の企画及び運営を実施し、将来市民後見人として活動する市民を養成するとともに、円滑に市民後見活動を行えるようサポート体制を整備する。								他の事務事業との関連	D		
				成果指標		H27実績		透明性	該当なし		
				オリエンテーションへの参加人数		24.0					
								財政健全化計画	該当なし		
								財政健全化の取組	該当なし		
				コスト指標		H27実績		改革改善プラン達成度	該当なし		
事業の目的											
専門後見人には期待できない「寄り添って支援する」ということを、「市民という専門性」を持った市民後見人に期待し、被後見人の権利擁護を推進していくこと。											